

## 議会運営委員会協議結果

日時：令和7年4月8日（火）

午後3時00分 開会

午後3時24分 閉会

場所：委員会室

1. 議会広報誌編集委員会、議会PR委員会、議会ICT推進委員会の令和7年度の運営について（資料1、P1）

【鈴木幸彦副議長】3月31日に3委員長にお集まりいただき、来年度に向けての話をしました。その結果を受けて、資料1を作成しました。

まず、前回、議会PR委員会から出された戦略についてご承認いただけるか、委員長のお取り計らいでお諮りいただきたいと思います。

【芳金秀展委員】議会PR委員長として補足説明します。資料2にありますが、①ターゲットを絞ることにより広報が届きやすい、②20代、30代、40代、子育て世代にもっと情報を届けるべき、③ターゲット世代に対するアプローチ方法、④戦略の期間を区切る、という戦略です。

【伊藤正興委員】e-モニターなので、年配の方より若い方の回答数が多いのですが、一方で、紙媒体から情報を得ているという結果でした。今後取り組むにあたり、注目したいところです。戦略に賛成です。

【竹内功治委員】戦略に賛成です。

【岩田玲子委員長】戦略については議会PR委員会から提案された通りでよろしいですか。

《 了承 》

【鈴木幸彦副議長】e-モニターに参加される関心が高い若い世代の方と街中にいる若い世代の方の感覚は違うと思います。関心が低い若い世代の方にアプローチするということでハードルが高いため、チャレンジしていくにあたっては、皆さんに協力いただかなければなりません。

3つの点についてご協議いただきたいと思います。一つ目は、3委員会は上下関係ではなく並列ですが、議会PR委員会が主導して戦略に沿っているかどうかをチェックしまとめていくことについて、二つ目は、e-モニターの活用はもちろんですが、若い方の集まり等へ出て行って生の声を聴くことが必要ではないか、三つ目は、どのように取り組むのか手法が決まっていないので考えてきていただきたいと思います、以上3点です。それによって3つの委員会の仕事量も決まってくるかと思いますので、人数割りや無所属議員の所属についても検討していただきたいと思います。

【渡邊昭司議長】議会広報誌編集委員会が市議会だよりの編集を行うとか、議会ICT推進委員会がタブレットの活用について考えると、もともと所管

の内容は引き続きやっていただければいいので、すべてを議会PR委員会に委ねるわけではありません。

【岩田玲子委員長】この件については会派持ち帰りとします。次回は、4月21日午後1時30分から開催し、結論を出したいと思います。当日、局長は瀬戸市で会議があるため不在です。

## 2. その他

【渡邊昭司議長】3月定例会で追加議案で報告案件が出されましたが、今後も同様な案件があれば追加議案で対応することになります。

【杉江慎二局長】専決処分を行ったときは議会報告することになっています。会期中に専決処分を行った場合には、当該会期中に報告することが妥当であるという判断です。

【岩田玲子委員長】その他で何かありますか。

《 発言なし 》

《 閉会 》